

# 非財務データ 環境

## 気候変動

		パウンダリ	単位	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期
GHG排出量	Scope1	グループ	t-CO <sub>2</sub>	12,395	12,721 ✓	19,297 ✓
	Scope2 (ロケーション基準)			—	12,881 ✓	13,782 ✓
	Scope2 (マーケット基準)			13,028	12,977 ✓	13,093 ✓
	小計 (Scope1+2)			25,423	25,698	32,390
	排出原単位 (Scope1+2)		t-CO <sub>2</sub> / 売上 10億円	26.7	24.2	26.5
	Scope3	グループ	t-CO <sub>2</sub>			
	カテゴリ 1: 購入した製品・サービス			—	—	288,657 ✓
	カテゴリ 3: Scope1,2に含まれない 燃料及びエネルギー活動			—	—	4,758 ✓
	カテゴリ 4: 上流の輸送・配送			—	—	3,292 ✓
	カテゴリ 5: 廃棄物			1,445	1,154 ✓	3,038 ✓
	カテゴリ 6: 出張			515	601 ✓	1,575 ✓
	カテゴリ 7: 通勤			9,369	7,889 ✓	8,408 ✓
	カテゴリ 9: 下流の輸送・配送			—	—	35 ✓
	カテゴリ 11: 販売した製品の使用			—	—	2,626 ✓
	カテゴリ 12: 使用者による 製品の廃棄時の輸送、処理			—	—	30 ✓
小計 (Scope3)	11,329	9,645 ✓	312,419 ✓			
エネルギー消費量	ガソリン等	グループ	百万 kWh	47.5	48.3	66.9
	電気消費量 (うち再生可能エネルギー/ グリーン電力)	グループ	百万 kWh	26.3 (—)	26.5 (—)	28.8 (2.7)
	エネルギー消費量合計	グループ	百万 kWh	73.8	74.8	95.7

※1 算定した排出量の正確性・信頼性を確保するため、2022年3月期より温室効果ガス排出量実績の✓を付した数値について、ソコテック・サーティフィケーション・ジャパン株式会社による第三者保証を受けています。

※2 Scope1およびScope2は、パーソルホールディングスおよび国内連結子会社の主要拠点、また主要な海外連結子会社の主要拠点を対象に算出しております。

※3 2022年3月期の小計 (Scope3) の値は、小数点以下の値を含んだ各カテゴリの集計結果であり、見かけ上各カテゴリの集計結果と一致しません。

※4 Scope3は、当社および国内連結子会社の主要拠点を対象に算出しております。  
また、算定カテゴリ拡大により、Scope3の排出量が増加しています。Scope3の他のカテゴリに関しては詳細把握の上、将来的な追加開示を検討していきます。

## 汚染防止と資源循環

		パウンダリ	単位	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期
廃棄物・リサイクル量	リサイクル廃棄物 (資源ごみ〜紙類・ビン・缶・ペットボトル)	※1	t	24.6	28.2	38.6
	非リサイクル廃棄物 (その他一般廃棄物)	※1	t	77.0	93.6	133.2
	非リサイクル廃棄物 (産業廃棄物)	※2	t	454.3	511.3	550.1
	特別管理廃棄物 (廃油)	※2	t	—	—	1.4
	廃棄物排出量合計 <sup>※5</sup>	—	t	555.9	633.1	723.3
	水使用量・排水量	※3	m <sup>3</sup>	4,427	10,194	10,337
原材料使用量	※4	t	240	222	209	
グリーン購入率	※4	%	37.2	36.7	33.7	

※1 集計範囲は主要オフィスである南青山ビル・グランフロント大阪・TS池袋 南青山ビル・グランフロント大阪:2020年4月〜 / TS池袋:2021年1月〜の実績

※2 集計範囲はPFA (福島・宮崎・米子)、PXT PFA福島・宮崎・米子:2020年4月〜 / PXT:2022年4月〜の実績

※3 集計範囲は本社の南青山ビル・TS池袋

※4 集計範囲は単体および国内グループ

※5 廃棄物排出量の増加は、事業規模拡大によるものです。

※6 2022年3月期において集計の定義を見直したことに伴い、遡及して数値の補正を行いました。

※7 集計時の使用係数の単位に誤りがあったため訂正 (2023年7月)